



平成 3年 (1991年)

鹿屋市役所が国鉄鹿屋駅跡に移転

旧鹿屋市の市制施行50周年記念事業として、旧国鉄鹿屋駅跡に建設された新庁舎。5月7日に移転・開庁し、同28日には記念式典と落成式が催されました。



平成 7年 (1995年)

輝北天球館がオープン

輝北天球館は、旧輝北町が環境庁(当時)の星空継続観察で4季連続日本一となったことを記念し建設されました。鹿児島出身の建築家・高崎正治氏が設計したことでも知られています。

昭和天皇の崩御により、始まった「平成」。平成初期には、現在も市民や観光客などが訪れ利用する施設などが多く作られました。

平成元年〜10年



平成元年 (1989年)

平成が始まる

昭和64年1月7日、昭和天皇が崩御。翌1月8日から年号が「平成」と改元されました。写真は、半旗が掲げられた吾平町商店街の様子。



平成 5年 (1993年)

戦後最大級の台風13号が襲来

平成5年9月3日、中心気圧930hPa、最大風速秒速50mという記録的な勢力の台風13号が薩摩半島に上陸。市内でも多くの水害が発生しました。



広報かのや

平成のキオク。そして未来へ

4月1日、今上天皇が退位されることに伴い、5月1日からの新しい元号が「令和」となることが、発表されました。日本や世界で、様々な出来事や自然災害などが起こった「平成」。全国的に「平成の大合併」が進む中、平成18年1月に「新鹿屋市」が誕生するなど、私たちの暮らしす街でもたくさん出来事がありました。今回の特集では、鹿屋市(旧1市3町時代を含む)での主な出来事を振り返ります。

右上の写真は、平成元年2月に発行された、旧鹿屋市の「広報かのや」。「この子供たちが、大人になる21世紀も平和で豊かな時代であることを願わずにはおりません」とも書かれています。「令和」の時代も、平和と子どもたちの笑顔が続きますように。

- 長野五輪郵便番号7桁にタイタニック
- 山一証券破綻消費税が5%にダイアナ元妃事故死
- アトランタ五輪たまごっち発売「メークドラマ」
- 阪神・淡路大震災地下鉄サリン事件Windows95発売
- イチロー初の200安打若貴ブーム最盛期関西国際空港が開港
- 「リーグ発足平成の米騒動8.6豪雨
- 就職氷河期突入新党ブーム「きんさん・ぎんさん」
- 雲仙普賢岳噴火湾岸戦争ソビエト連邦崩壊
- バブル崩壊日本人初の宇宙飛行センター試験開始
- ベルリンの壁崩壊消費税導入(3%)リクルート事件
- 平成10年(1998年)
 - 輝北町でオフトーク通信サービス開始「湯遊ランドあいら」・「つわぶき」完成
 - 大始良出張所新庁舎落成
- 平成9年(1997年)
 - 吾平町制50周年記念式典
- 平成8年(1996年)
 - 鹿屋分水路に通路
 - 「アクアゾーンくしら」オープン
- 平成7年(1995年)
 - 鹿屋市保健相談センター開設
 - 「輝北天球館」オープン
 - 国勢調査(人口105,059人)
 - 輝北町制施行40周年記念式典
 - 「曾田坂トンネル」開通
- 平成6年(1994年)
 - 霧島ヶ丘公園内に「かのやバラ園」開園(1ha・500種・6,300株)
 - 「田崎地区学習センター」開設
 - 鹿屋市長に浅井隼人氏が就任
 - 「鹿屋市観光物産総合センター」完成
 - 戦後最大級の台風13号が襲来。各地に被害
- 平成5年(1993年)
 - 吾平町でオフトーク通信サービス開始
 - 「鹿児島きもつき農業協同組合」開業
- 平成4年(1992年)
 - 旧国鉄大隅線跡に「フィットネスパス」開通
 - 鹿屋ハイパスが全線開通
 - 輝北町長に有留忠男氏が就任
 - 学校週5日制の導入
- 平成3年(1991年)
 - 神野中学校が閉校(吾平中学校に統合)
 - 鳴之尾牧場で映画「おいしい結婚」の撮影
 - 鹿屋市制50周年記念式典・新庁舎落成式
 - 吾平町長に野尻辰雄氏が就任
 - 「第45回県民体育大会(肝属県体)」開催
 - 「第1回九州地区生涯学習フェスティバル」開催
- 平成2年(1990年)
 - 鹿屋ハイパスの一部供用開始(笠之原郷之原)
 - 「市成地区公民館」完成
 - 「鹿屋市清掃センター」稼働
 - 台風20号が襲来。各地に被害
 - 国勢調査(人口103,761人)
- 平成元年(1989年)
 - 昭和天皇が崩御。「平成」が始まる。
 - 鹿児島県知事に串良町出身の土屋佳昭氏が就任
 - 串良町長に中島孝氏が就任
 - 鹿屋市新庁舎の建設着工